

各 位

平成 27 年 2 月 24 日

注射薬のバッグ製剤の新工場（508 工場）における  
商業生産開始に関するお知らせ

富士フイルムグループの富山化学工業株式会社（本社：東京都新宿区、社長：菅田益司、以下、富山化学）は、富山事業所内に建設していた、ペニシリン系注射薬のバッグ製剤の生産を行う新工場（508 工場）での商業生産を 2 月 24 日より開始いたしました。

新工場は、平成 25 年 1 月に着工し、平成 26 年 3 月に竣工、その後、試験生産を行ってきました。

新工場は、富山化学と富士フイルムのエンジニアリング技術を用いて設計した、生産ラインを導入しています。生産ラインの滅菌工程には富山化学独自の高精度な温度制御技術を、検査工程には富士フイルムの高度な画像検査技術などを投入しており、効率的なバッグ製剤の製造が可能です。

また、新工場は「P I C / S（医薬品査察協定および医薬品査察協同スキーム）」により求められる高度な医薬品製造国際基準をクリアしております。

新工場で製造するバッグ製剤は、富士フイルムが長年写真フィルムなどの研究開発で培ってきた、高い有機材料の知見と、優れた製膜技術を応用して、バリア性と透明性を両立させた「超ハイバリア性透明フィルム」を使用しています。これにより、高い防酸化性および防湿性を実現しています。また、投薬調製時にバッグ内部を一目で確認することができるため、利便性も向上しています。

富士フイルムグループの富山化学は研究開発型企业として「新薬開発を通じて世界の医療の発展に貢献する」ことを目指しています。

《建設概要》

- ① 工場名：508工場（鉄骨造 4階建て）
- ② 住所：富山県富山市下奥井2-4-1
- ③ 建築面積／延床面積：1,170.91 m<sup>2</sup>／3,471.02 m<sup>2</sup>
- ④ 総工費：35.5億円

以 上

本件に関するお問い合わせは下記にお願い致します  
富山化学工業株式会社 総務人事部総務グループ  
TEL 03-5381-3818

本件は、重工業研究会、本町記者会、富山経済記者倶楽部へ資料配布しています。